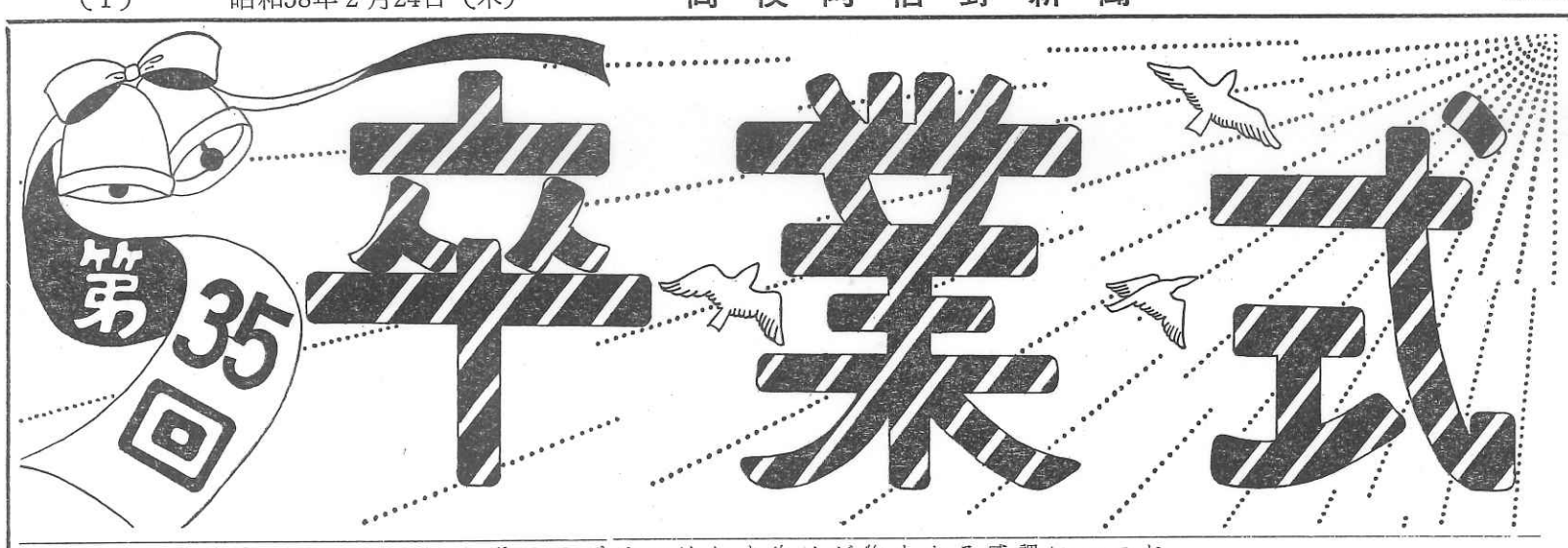


高校阿倍野新聞

発行所
大阪市阿倍野区阪南町一丁目30番34号
大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集責任　木越真人
発行責任　和田勝彦

明日に乾杯!!

阿倍野高校第三十五期生の皆さん、御卒業おめでとうございます。ここに、先生方からのお祝いのメッセージをいただきました。

可能性を追求

校長　中西昭次

第35期卒業生の諸君卒業おめでとう。今本校を巣立つにあたり3年間を振り返って諸君はどんな感慨を抱いているだろうか。学習に課外活動に自分なりに充実感をもっている人もいるだろうが、悔の残る人もたくさんいることだろう。もともと人間というのは他の生物に較べて欠陥の多い動物だとされている。他の動物はその完全な本能を頼りに生活するが要はそれでおしまいである。不完全に生まれてくる人間は逆にそれだけ変化や発展の可能性をもっていることになる。諸君は若く瑞々しい。それはすばらしいことである。来たる21世紀に社会の中堅となる人材としてどこまでも自分の可能性を追い求めてほしいものである。

☆　☆　☆

責任の自覚を

教頭　門田　弘

卒業おめでとう、いよいよ一人前扱いです。まだ未成年ですが、世間では一人前に見てくれます。これは裏返すと、自分の責任は自分でとれということです。先ず、甘えを無くしましょう。これからは、誰かが何とかしてくれると他人をあてにできなくなるのです。自覚をもって事にあたり、自分の仕事に自負をもてるまでに早くなって下さい。

☆　☆　☆

一組担任　弥園　時雄先生

前途に希望を持って卒業されていく皆さん、生涯を頑張って生きて下さい。如何なる壁にぶつかっても、それに負けずに打ち勝って欲しい。又時々母校阿倍高を思い出して近くを通る時には寄って下さい。では、御身体を大切に。

☆　☆　☆

二組担任　梶川　重次先生

いよいよ卒業のときがきた。君達が共通して持っているものは何なのか？　若い力と情熱こそ君達の宝であり、これはまちがいなくへりこそすれふえないものだ。どうか周囲にある安易でオジン臭いマナーなり目標でなく、若者らしい目標に向って死にもの狂いで努力してほしいものだ。

☆　☆　☆

三組担任　増田　和一先生

キルケゴールがヘーゲルの「あれもこれも」を批判し、「あれかこれか」を唱えたことは「倫社」で教えた通り。若き日の「あれもこれも」は君たちの人間形成に欠かせないものだが、それが今後君たちの人生の節目で、必ず直面するやり直しのきかない「あれかこれか」に備えてのものであることを忘れないように。

☆　☆　☆

四組担任　樺島　裕子先生

贈る言葉として
〝一期一会〟
〝和して同ぜず〟
〝自分を見限らず、自分を愛して、いとおしみ、自分を信じること〟

五組担任　大西　憲正先生

青春は模索の時だ。いろいろなものにチャレンジし自分の「何か」を見つけ出すための時だ。独断を恐れる必要はない。失敗を愧じる必要もない。ただベストを尽くす、これだけだ。そうして、自分の「何か」を見つけた時、君達の本当の出発の時がやって来るのだろう。とにかく、君達の旅立ちに乾杯！

☆　☆　☆

六組担任　木下　和夫先生

我々人間は、人間である前に動物であるということを忘れないで欲しい。眠る事、食べる事、動く事。これらを大切に行なえて初めて動物でありうる。その後目標を定め希望をもち、その目標に一歩一歩近づく努力をしてやっと人間である。より人間らしく成長してくれる事を祈りここに贈る言葉とする。

☆　☆　☆

七組担任　倉本　優先生

卒業おめでとう。社会人として成長してゆかねばならない君達に生物の話。「根の貧弱な木は大きく育たない。」水不足になっても緑の葉を沢山つけており、強風にも倒れずに立っている大木は、陽の当らぬ地下に広く深く根を伸ばしているのです。健康に留意し、人生の根を伸す努力を怠るな。

☆　☆　☆

八組担任　梶本たづ子先生

高校生活を振り返ってみて何が心に残っているだろうか。無為に過ごしはしなかっただろうか。大いなる反省の下に、人生の第一歩を踏み出して欲しい。岐路に立ち、如何なる選択を為すべきか惑うこともあるだろうが、自分の人生であることを忘れてはならない。

☆　☆　☆

九組担任　福田　陽造先生

祝御卒業
一、「人間とはなんたる自然の傑作か！　理性は気高く、能力はかぎりなく、姿も……」可能性を信じ、希望を捨てずに頑張ろう。

人生は航海である

ユーゴー

先輩方へ

新聞部部員より

三年生の皆さん、おめでとうございます。これからの先輩方の御活躍を祈って新聞部部員より言葉を贈ります。

とうとうお別れですが、新しい出会いを大切にしてすばらしい人生を！

ウッドストック

一、平和。お互いに微力ながら、協力して大事に守っていきましょう。ラッセルを忘れずに。　祈御多幸！

☆　☆　☆

おめでとうございます。別れに涙は禁物!!目標に向かって大きく羽ばたいて下さい。

百合子

袖振り合うも他生の縁…これからの新しい出逢いを大切にして下さい。

ふりいばるうん

笑顔でいっぱいの日、涙した日、阿倍高での思い出って、きっと一日かかっても話しきれないぐらいあるんでしょうネ。これからの思い出を作るのも自分自身なんだから、一日一日を大切に過ごして下さい。

パステルポッポ

就職内定者

卒業生の皆さん、御卒業おめでとう。君達の共通して持っている力と情熱こそ君達の宝であり、これはまちがいなくへりこそすれふえないものだ。どうか周囲にある安易でオジン臭いマナーなり目標でなく、若者らしい目標に向って死にもの狂いで努力してほしいものだ。

☆　☆　☆

躍なさることでしょう。学生生活に終止符をうち、何もかもが初めてで、とまどうことも多々あると思いますが、今までの経験を生かし社会人として頑張って下さい。

今年は、就職希望者が多く、昨年の二倍ほどの方々が就職されました。求人が少なくなり、厳しい中を勝ち取った道です。自分の持つ才能と可能性を十二分に発揮して目標に向かい旅立って下さい。

本年度の就職予定者は次の通りである。

近畿自動販売　西原　聖勝
秋野　賢一
三菱鉛筆　松田　行敏
日本専売公社関西支社　田中　雄二
関西電力　黒田　晃義
太田　博之
原田まり子
日本電信電話公社　南木　章
松下電器　小川起代子
滝定　山田　隆子
森本　涼子
イズミヤ　新井多佳子
カネボウ　池上　千恵
紀ノ国屋書店　大内千恵子
ミノルタ株式会社　岡田　育子
ローランド株式会社　葛原　明子
大阪興銀　権　英美
大丸　吉元　薫
武田薬品工業　内野々良江
因幡電機製作所　笠置久美子
大阪ガス　金森　康恵
平井鉄工所　田中　美子
住友銀行　福本　佳也
小泉株式会社　三瀬　順子
藤沢薬品工業　甲元　哲子
太陽酸素　平出ゆかり
阪和興業　北田　洋子
統計サービス　杉林　有香
大阪書籍　中野真由美
福田　幸子
三和銀行　高橋　里佳
谷　裕子
樋口有末子
徳州会　大原　和子
サンガリア　河合　陽子
資生堂　田中允理子
東洋ステンレス　樋高　明子
堀　美知代
横山株式会社　松本　智代
第一勧業銀行　村田　晴子
福寿信用組合　石川　寿子
Mシステム技研　木平　礼子
栗山　智子
大阪商業信用組合　田中いづみ
（敬称略）

針の穴

太陽系の第三惑星、地球。太陽系内九個の惑星の中でたった一つ、生物が存在している美しい星である。その中の日本。四方を海に囲まれた美しい島国である▼昔、日本は、とても美しかった。しかし、今はどうだろう。人間だけが、美しい自然をめちゃくちゃにしている。バランスの整った自然界。そのバランスが崩れた時、地球はどうなるのだろうか▼日本で一番高い山は、富士山である。昔は、一歩一歩、踏みしめ登ったのである。今は五合目まで富士スバルラインが走っている。この富士スバルラインを、通ったことのある人は、道路の両脇に広がる、白く枯れきった木々を見たことがあるだろう。あれも我々人間の行った〝犯罪〟なのである▼高度経済成長の時以来、緑がなくなってゆくに併い、野性の動物たちも減ってゆく。人間もいわば野性の動物なのである。人間は土から生まれ、土にかえるという。その自然が無くなってゆくということは、我々はまともに死ぬこともできないのではないだろうか▼人間が、生きてゆくためには、なくてはならないものがある。それは水、空気、食物の三つである。これら全てが、自然からの恵みである。このうち一つが欠けても、人間は生きてゆくことが、絶対にできない▼人間の力は、自然の力に比べると、ほんの小さなものである。人間がどんなに頑張っても、自然に勝つことはできない。街路樹一本の枝にせよ、我々人間の命につながるものなのである。自分の命を守るためと思い、自然を大切にして欲しいものだ。

（計兵衛）

寒空の下で歓声

クラスマッチ決勝

二月七日から放課後に行われていた冬季クラスマッチも十二日についに決勝戦を迎かえた。この日、四限と六限を入れかえ、昼休みも使って行われた。その決勝戦の模様を紹介しておきます。

二年ラグビー決勝

一組対五組

一回戦で六組、二回戦で八組に勝った一組と、一回戦で四組、二回戦で三組に勝った五組との間で決勝戦は行われた。

前半、一組優勢で試合は進んだ。五組も必死に食い下がってはいたが、一組のフォワードや、守りの固いバックスに少し圧倒されていたようだ。

約十分後、スクラムから出たボールをうまく横につなぎ、五組にタックルされながらも左すみへ先制のトライ。前半終了まぎわ五組は一組陣内で試合を進めたが結局、前半終了となった。

後半は前半とうって変わって五組が優勢に試合を進めた。五組は一組陣内でラインアウトや、スクラムから出たボールをうまくつなぎ、後半七分、フォワードパスでうまくつなぎ、右すみにトライ。これで四対四の同点となった。

試合も終わりに近づいたころ、一組はスクラムから出たボールを拾い上げ、五組のバックスを何度もつぶしながら、ついに決勝点となるトライを右すみに決めた。その後、五組は同点にしようと必死であったが、結局八対四でオフサイドとなった。この試合は決勝戦に似合った緊迫した好試合であった。

一年サッカー決勝

二組対三組

二組と三組の間で決勝戦が行われた。二組は一回戦で一組を二対一、二回戦で六組を三対〇と破り、三組は一回戦で四組を二対〇、二回戦で五組を二対〇と破った。

まず前半、三組のキックオフで始まったこの試合、二組が開始まもなくサイドからのすばらしいロングシュートをきめ、早々と得点した。しかし、その後、どちらが優勢ともいえない互角の好試合となった。

両チームともバックスの守りは固く、なかなかシュートのチャンスがなかった。結局二組の一点リードで前半は終了した。

シュートきまるか

後半、陣地が変わり、二組のキックオフで試合が始まった。開始直後、三組陣内にあったボールをうまく二組がとり、真ん中からシュートを決め、二点目を挙げた。一方、三組も一組陣内に何度か攻め込んだが、結局二組のうまい守りに得点することができなかった。

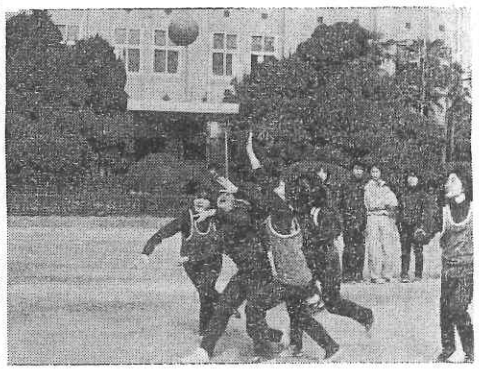
後半も残りわずかとなった時、二組は三組陣内の左すみからボールをセンターにまわし、三組のバックスをかわしてシュートを決めた。三組も最後までがんばったが、二組は三組の一瞬のスキをつく巧みな攻撃で三対〇と試合を圧勝した。

二年バスケット決勝

一組対六組

クラスマッチの優勝候補として注目されていた一組と五組が、皮肉にも一回戦で顔をあわすということになった。なかなかの好試合であったが、一組が二回戦へと勝ち進んだ。何と二回戦ではファールの数で勝敗を決めるという壮烈な試合であった。一方、六組は一回戦は順調に進んだものの、二回戦四組との試合は、一回戦のようにはいかず苦戦であったが、なんとか決勝へとコマを進めた。

小雪が散らつき、プールの水も氷っているという寒空の下。第一グラウンドでは、やはり決勝ともあって大勢の生徒がコートを囲む内一組対六組の試合開始である。まず一組のシュートが決まる。すると次に六組、という様に、身をのり出して観てしまうA班の戦いぶりであった。しかし六組に退場者が出るなど、やや一組優勢になってきたところで、B班と交代、四対四の同点であった。しかし、B班では、一組がパスやドリブルなどで六組を上手にかわし、どんどんと点差をつけていった。応援もコートを二重するほどに増え、思わずの、波に乗った一組を押え切ることができず、時間大声で叫んでしまうという光景であった。結局B班は、終了となった。結果、二十十六対八と一組が倍の点数二対十二で一組が優勝。これで春のクラスマッチと連続優勝したことになる。



シュートはさせへんで

一年バスケット決勝

四組対六組

二年女子の決勝に引き続き一年女子決勝である。この決勝は、本当に互角の戦いだったといえるだろう。それゆえに、応援の方も二年にまさるもので声援が特に目だった。試合は開始されたが、お互いになかなか得点に結びつかずにいた。開始一分三十秒経過したところで、四組がシュートし先制点を取った。しかし、すかさず六組もシュートを決めて、同点。A班は、ワンゴールずつの二対二であった。続いてB班、これもまったく互角。四組がシュートをすると六組がシュートを決める。また四組が、六組が…と息をつぐ暇もないとはこのことであろう。応援していた一年男子の中で「まるで漫画みたいや」というような声さえ聞こえてくるほどであった。結局B班でも十対十の同点、勝敗はC班の試合にかかってきた。両方の組はもちろん他の生徒の観声も、ひときわ大きくなった。決勝戦も大詰め、C班の試合が開始された。四組も六組も、相手に一歩も譲らなかった。シュートの応酬、しかし点数は依然として同点。取られたら取りかえす、この連続であった。ヘルドボールの数も増し、転んだりして体装服も泥まみれになるという白熱した試合であった。しかし、四組がややボールを自分達のゴールへ引きつけていき、六組の不意をつくシュートが、この試合を決めた。結果、十四対十二で四組の優勝となった。

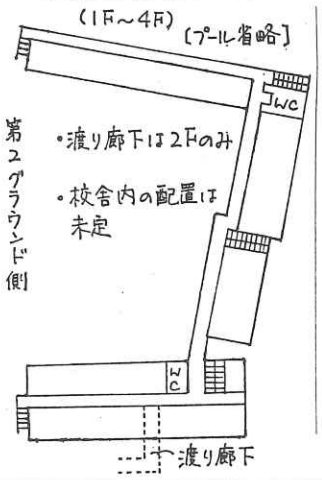
優勝

二年男子ラグビー　一組
一年男子サッカー　二組
二年女子バスケットボール　一組
一年女子バスケットボール　四組

APC通信

☆校舎改築スタート

以前から話のあった校舎改築が、いよいよ始まる。予定では、まず、今年の三月頃から第一グラウンドの使用が禁止される。そして、四月から着工予定。プールとテニスコートから壊される。なお自転車置場が無くなるため、自転車通学を禁止にするか見当中である。



☆修学旅行

去る一月二十五日から二十九日まで、二年生のスキー修学旅行が行われた。行先は蔵王。初心者から経験者まで、二十六日から三日間の講習を受け、それぞれの成果をあげた。

この蔵王でのスキー修学旅行は、大阪の公立高校では初めての試みであった。そのため二十七日には、NHK山形から「雪のない大阪の高校生が蔵王へ」と題して、取材を受けた。この模様は、現地で二十七日のニュースに放映され、盛り上がった。大阪でも、翌日放映された。

修学旅行中、一部流感にかかった者もあったが大した事故もなく無事終了した

☆新一年は九クラス

今年の府下の公立中学卒業見込者が、昨春より二万三千人増えて十三万四千七百七十人になる。そのため公立全日制高校の募集人員が一万四千三百五人増やされ、計八万四千十一人となった。我が校でも、それに伴ない、新一年生の学級数を昨年の七学級から二学級（九十四人）増の九学級（四百二十三人）と決められた。

編集後記

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。御祝いに新聞部より詩を贈ります。

〝明日から〟
昨日までの私は
貴方の背中の後ろで
何の心配もなく
ぬくぬくと生きてきた
だけど明日から
私は一人で歩き始める
今
一つの分岐点に立ち
私は
真正面から風をうける
私はこの道を
自分の信じた道を
私自身の力で
歩いてゆきたい
明日から
私は一人で歩き始める

皆さんは今、分岐点に立っています。眼前に広がる道の途中には困難なこともたくさんあるでしょう。しかし、障害物を避けて通るのではなく、正面からそれを打破して下さい。そして自分の道をしっかり見つめ前進して下さい。

皆さん、何事に対しても後悔することのないよう、一日一日を精一杯生きて下さい。皆さんの御健闘を、心からお祈りしています。

野外雑学

桃ケ池&文の里

新しい発見？！

冬も終わり、春がやって来そうな今日この頃、これまでの野外雑学は少し遠い所だったので今回は、〝桃ケ池&文ノ里商店街〟を散歩道として紹介したいと思います。

昭和町からあびこ筋を南に歩いていくと、大きなボーリングのピンがのっているビル。ここがボールカスタム（ボーリング場）です。見た目より中は少し狭いですが平日などは意外とすいています。（取材に行った日は入ってすぐゲームが始められました。）ゲーム料金の方は、平日学生で三百円（貸靴料金百円は別）です。

次は大阪市立阿倍野青年センター。桃ケ池公園の南側にあり、二十人用の会議室から百五十人収用可能の体育館まで和室や洋室などいろいろあります。使用料金の方も一部屋六百円ぐらいからなので、クラブの会合や友人との集いなんかに利用されてはいかがでしょう。また、あいている時は、卓球台やロビーなどは自由に使えます。

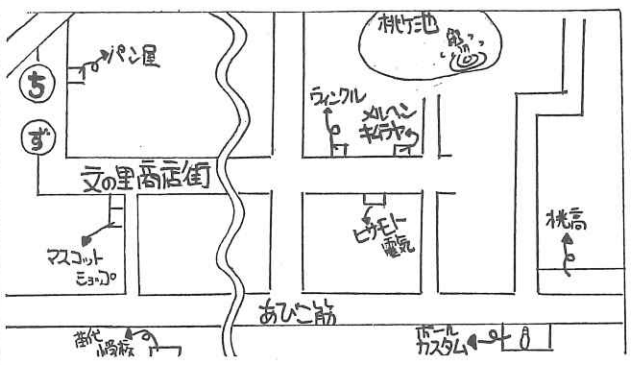
すぐ近くにある桃ケ池は、休みの日には、たくさんの人が魚釣りにやって来ます。また春になると桜のきれいな道もあります。また池の中央にある公園は意外と広く、たくさんの人が遊んでいます。学校から意外と近いので一度行ってみては？

桃ケ池公園の近くには文ノ里商店街があります。商店街に入ってすぐ右側（地図を参照）に見える白いビルが〝メルヘンキムラヤ〟です。一階はおいしそうなパンがたくさんならべてあります。また二階は、少し狭いながらも明るい喫茶店になっています。この店でジュースなど飲み物を注文するとシュークリームがついてきます。（とてもおいしい！）

キムラヤを出て少し北へ向かうと左側にヒサモト電気があります。他の店に比べるととても広く各社製品がたくさんおいてあります。

その向いにあるスーパーウインクルは、学校からも近いし、商品もたくさんそろっているので合宿の買い出しの時などとても便利でしょう。

信号を渡って北へ歩いていき、商店街から昭和町側に出ると（地図を参照）マスコット商品の店『ピコット』があります。店中マスコットだらけのようで楽しい感じがします。

商店街にもどり、北へ進んでいくと曲り角があり、そこを曲がって真っすぐ歩いていくとパン屋『シャトードール』があります。この店には動物パンなるものが売っています。前日に注文すれば次の日にはどんな動物でも焼いてくれます。値段も三百円と、てごろですのでプレゼントなんかにどうでしょう。

以上ですが、今回紹介した以外にもおもしろい店がたくさんありますので一度、歩いてみて下さい。